

## ##見出し

第124回定例会を開催

節目の1年を充実させる

## ##本文

ベストウールクラブ(BWC・野村利泰会長)は、14年12月11日、東京・千代田区丸の内の東京国際フォーラムで、「第124回定例会」を開催しました。

冒頭、野村会長が「15年はBWC設立30周年、レーヌマーク発売10周年を控え、今回が大きなスタートとなります。活発な協議をお願いしたい」とあいさつしました。

定例会は、以下の4つの議題が挙がり審議されました。

【議題①】第123回レビュー＝カネヨウ・勢間氏より報告されました。

【議題②】ベストウールクラブ結成30周年について

(1)ベストウールクラブ30周年記念事業としてウール布団の快適性、優位性をデータによる裏付けをもとに再評価をしていくにあたり、ケケン試験認証センター:安藤所長、田中様よりプレゼンを頂いた。内容は事前にBWC側より打診をしていた以下の項目について、試験方法、展示方法、試験料金等について。

- ① 吸放湿性
- ② 吸湿発熱性
- ③ 難燃性
- ④ 保湿性
- ⑤ 衛生機能
- ⑥ ストレスフリー
- ⑦ 断熱性

### 備考

※⑤衛生機能については、特に消臭性についての試験を検討する。

※⑥ストレスフリーの評価については、医学的観点になる為、同試験機関での評価は困難との見解が示された。

プレゼンテーションの結果、ケケン認証センターご提案の試験方法、お見積もりを基本方針として機能性評価を進めていくことが了承された。

(2)BWCホームページ上での訴求について

エス・シー・エム海内様が急遽欠席となり、次回以降へ持ちこしとなった。

(3)日本産羊毛ふとんについて

野村会長より、今回の展示会向けに日本産羊毛が手配可能であること、またその入手経路、加工背景について説明があった。今回の羊毛は「横浜子供の国」で飼育されているものを飼育員の方が自分で洗浄されたものである。

これにより、展示会への日本産羊毛商品の出品を進めることが確認できたが、その後の国産羊毛を使った商品展開については、議論の決着を見ず今後の検討課題となった。

(4) 展示会での展示手法について

クリプトン浅野社長より、他社のブースなども参考にブースデザインのポイントについてのプレゼンテーションがあった。

(5) AWIとの協力について

AWI井上支社長が欠席となり、協議をかわすことが出来なかったが、展示会に向けての協力についてBWCとして要請を行っていくことが確認された。

また、展示会出展にあたり業務が広範囲におよぶことから、各分科会を設置し、分担、協力をして進めていくこととなった。

各分科会の項目、人員については以下の通り

- ① 羊毛機能試験/大恵ウール: 西岡常務、カネヨウ: 勢間
- ② 展示会準備/関東所在の会員を中心に、クリプトンと協力して行う。
- ③ 日本産羊毛/大東紡織: 野村副社長
- ④ BWCホームページデザイン変更/エス・シー・エム作成、アサギ: 浅黄支店長監修。
- ⑤ ストレスフリー/連携のとれる大学や教育機関がないか検討を行う

**【議題③】執行部総括**

現執行部が今回の定例会をもって任務終了となる。(後任人事については未決定)

その為、現体制での取り組み内容の総括について報告があった。

- ・AWIとの取組み強化—ウールマークにおける臭いに関する基準作成等。
- ・ホームページの利用促進
- ・BWCの会員増加の取組み
- ・海外研修—東南アジア※国際情勢の影響により中止
- ・レーヌマーク以外の基準の作成
- ・布団メーカー(主に機械設備について)の維持、継続についての取組み
- ・新しい商材の開発(大学等との連携)の取組み

以上の内容の達成を目的に取り組みを行ってきたが、具体的な成果をあげるに至っていない項目もある。今後の取組みについては新執行部において検討を行うこととなる。

**【議題④】その他**

西岡幹事より、今年度レーヌマーク発行状況について説明が行われた。

なお、次回例会は、2月12日(木)に開催する予定です。

「第124回定例会」は、後藤利広会計監事より「閉会の辞」で、滞りなく終了しました。